

春合宿ディベート報告

議題 「動物園の廃止、賛成か否か」

形式

賛成側 第一立論 5分

質問 3分

反対側 第一立論 5分

質問 3分

作戦タイム 2分

反対側 第二立論 5分

質問 3分

賛成側 第二立論 5分

質問 3分

話し合い 10分

賛成側 反論 5分

反対側 反論 5分

賛成側 最終弁論 5分

反対側 最終弁論 5分

計64分

賛成側（23期）	反対側（24期）
<p>第一立論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高価なレンタル料、餌代、および運営に使われている税金の削減 ・動物園の役割は、動物保護ではなく展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・希少動物の保護、種の保存の役割 ・調査、研究への利用 ・娯楽や環境意識へのきっかけとして
<p>第二立論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の動物は、野生より寿命が短く、保護になっていない ・保護センター>動物園 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育と動物園の密接な結びつき ・ペットとは違う、希少動物とのふれあいの場
<p>反論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育された動物は野生に戻せないのだから、本当の意味で保護とはならない ・動物園に使用されている税金を環境保護に充てるべき ・金銭的負担のため、飼育を放棄した動物の例もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・短命化とはなっても、絶滅へのリスクは回避できる ・動物園の工夫次第で、赤字運営を抜け出せる
<p>最終弁論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会のほうが自然を必要としているのに、都会ほど運営がうまくいっていない ・巨額の税金を用いるほどの対価が生まれていない ・結果的に、私たちに保護しようという気持ちが生まれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止すると生態系に影響が出る ・たとえわずかであっても、人々の環境意識が変わればよい

結果

一貫性や資料の量が評価され、賛成側の勝利。一方反対側については、緊張や伝達不足があっただけか、下調べ資料やディベート形式の理解に不足が感じられた。また全体を通して、発言者が固定されていたりと、グループ内での準備不足も指摘された。